

株主の皆さまへ

2025年12月期 中間報告書

2025年1月1日～2025年6月30日

東証プライム/名証プレミア (4072)



株式会社 電算システム
ホールディングス

Contents

特集

生成AIで加速するビジネス支援
～全社横断チームの取り組みと展望～

表紙について

付知峡 (つけちきょう)

岐阜県中津川市

御岳山系からの雪解け水が清流付知川となって、溪谷美を織りなす山紫水明の景勝地です。森林浴の森日本100選、岐阜県名水50選、飛騨美濃紅葉33選などにも選定されており、春にはつつじや山吹などに彩られ、秋は紅葉で朱に染まります。初夏の新緑、秋の紅葉とのコントラストなど四季折々の趣で、いつ訪れても違った景色を楽しめます。



価値創造企業への変革

株式会社電算システムホールディングス
代表取締役社長
小林 領司



株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年12月期の中間連結会計期間における決算の概要がまとまりましたので、株主の皆さまにご報告させていただきます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、所得環境の改善があったものの、物価上昇の継続などにより先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。このような経営環境において当社グループは、「共創」で新たな価値を創造し、社会に貢献することを経営理念のもと、さらなる業容の拡大と成長を志向し、継続的な営業努力と効率的な事業運営に努め、経営計画の達成を目指してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間における売上高は322億69百万円、営業利益は16億41百万円、経常利益は18億44百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は12億52百万円となりました。

セグメント別の業績について、情報サービス事業では、情報処理サービスが、BPO（業務処理アウトソーシング）事業が引き続き堅調に推移いたしました。また、SI・ソフト開発は、オートオークション業向けシステム案件や、自治体、民需ともに

Google Workspace、Google Maps、Google Cloud Platformなどのクラウドサービス分野が好調、商品及び製品販売では、Google Chromebookの販売が堅調に推移したことにより売上は前年を上回る結果となりました。一方、一部の仕入れ価格の上昇や人件費の増加及び過去に受注したシステム開発の契約が解除となった影響などにより利益は減少いたしました。

収納代行サービス事業では、主力の収納・集金代行サービスが、地方自治体を中心とした新規顧客の受注や稼働が順調に推移いたしました。前期後半から稼働した大口案件での取扱い件数の増加もあり、売上高は増加となりました。また一部の仕入れ単価は上昇したものの顧客の契約単価への転嫁が進んだこと、また決済ゲートウェイ事業におけるコストの見直しにより営業利益が増加となりました。

2025年12月期の見通しについては、売上高は675億00百万円、営業利益は35億00百万円、経常利益は35億30百万円を計画しております。通期計画の達成に向けて、サービスのさらなる進化、新たなソリューションの創出をグループ一丸となって邁進してまいりますので、引き続きご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

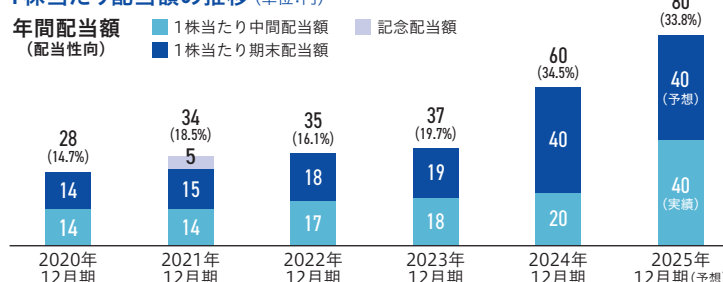
配当について

当社では上場以来、普通配当において安定的かつ継続的な増配を続けております。

2025年12月期は、企業価値の向上と株主の皆さまへの利益還元をより一層強化するため前期に引き続き増配し、中間配当を20円引き上げ、中間40円、期末40円の年間80円を予定しております。

※2020年12月期以前及び2021年12月期の中間配当額は、当社設立前の株式会社電算システムによるものです。

1株当たり配当額の推移（単位：円）



生成AIで加速するビジネス支援

～全社横断チームの取り組みと展望～

当社グループである株式会社電算システムは、長年にわたり2,000社を超えるお客さまにGoogle Workspaceを提供し、その活用を支援してまいりました。この強固な顧客基盤と、そこで培ったお客さまの課題を深掘りし、問題を解決するノウハウこそが、当社の生成AI戦略の礎です。生成AIという革命的な技術の登場は、このお客さまとの関係性をさらに深化させ、より大きな価値を提供する絶好の機会であると捉えています。

Gemini専門のプロジェクトチーム、全社横断の「生成AIチーム」の立ち上げ

MISSION 顧客にGemini活用による、最大の価値を提供する

この歴史的転換点をリードすべく、各部門から精鋭を選抜し、全社横断の「生成AI専門チーム」を立ち上げました。このチームはGoogle Workspaceのプロフェッショナルとして、最大の価値を提供するため、単に便利な機能をお届けすることではなく、お客さまが日々利用されているツールの延長線上で、最先端のAI技術を業務に組み込み、生産性を飛躍させ、企業全体の創造性を解き放つこと。そして、その成果がお客さまのビジネス成長に直結する、という成功体験そのものをミッションに掲げています。



定着化支援

- ・専任担当者サポート
- ・定期的なフォローアップ
- ・最新機能／事例提供
- ・定性レポート



促進体制支援

- ・インセンティブ設計
- ・ガイドライン策定支援
- ・活用事例コンテスト企画



ユーザー研修 トレーニング

- ・Gemini基礎トレーニング
- ・ハンズオントレーニング
- ・ワークショップ
- ・オンデマンド学習コンテンツ

Gemini (生成AI) 専門チーム

MISSION

Google Workspaceのプロフェッショナルとして、顧客にGemini活用による、最大の価値を提供する

Gemini (生成AI) 専門チーム の取り組み

課題解決のプロフェッショナルとして 精力的な社内トレーニングと実践を積み重ねる

→ INPUT

このミッションを実現するために、私たちは「自らが誰よりも生成AIを使いこなす」ことを徹底しています。専門チームは、お客さまへの価値提供と並行し、社内へのトレーニングや活用コンサルティングも精力的に行っています。これにより、社員自身が生成AIを日々の業務で実践し、その効果を実体験として積み重ねています。例えば、資料作成や情報収集、議事録の要約といった日常業務において、既に多くの部門で大幅な時間短縮を実現しました。この「有言実行」の姿勢こそが、私たちの提案に説得力と深みを与える源泉です。自社で培った実践的なノウハウがあるからこそ、お客さまが直面するであろう課題を先読みし、机上の空論ではない、真に価値のある活用方法をご提案できると考えています。

Gemini専門のプロジェクトチームが生成AIの利活用を支援

- ▶ 日々進化するGoogle Workspace with Gemini の最新情報をキャッチアップ・検証
- ▶ Google Workspace with Gemini の利活用のサポート
- ▶ オープンなウェビナーを実施し、お客さまに最新の情報・ユースケースを迅速に提供

OUTPUT ←

生成AIと今後の可能性

この取り組みは、ツールの導入支援という従来のサービスの枠を大きく超え、お客さまの企業文化やビジネスモデルの変革にまで踏み込む挑戦となります。私たちはこれを短期的な収益機会としてではなく、会社の未来を創るための重要戦略と位置づけています。社内で実証された成功体験を、2,000社を超える大切なお客さまとの「共創」を通じて社会全体へと還元していく。この好循環こそが、変化の激しい時代において競争優位性を確立し、企業価値を継続的に向上させていくための原動力です。この旗艦プロジェクトを強力で推進し、株主の皆さまのご期待に応えるべく、これからも未来への挑戦を続けてまいります。



2025年12月期 中間連結会計期間の業績について

当社グループの2025年12月期 中間連結会計期間における業績・財務概況及び通期の業績予想についてご報告いたします。

2025年12月期 中間連結会計期間業績のポイント

Point 1

情報処理サービス、収納・集金代行サービス等が堅調に推移しました。

前年同期比で、売上高は6.7%増、営業利益は6.0%増、経常利益は15.2%増、親会社株主に帰属する中間純利益は15.3%増と、増収増益となりました。

Point 2

純資産は前期比9億2百万円増加し、231億97百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が8億20百万円増加したことによるものであります。

連結損益計算書 (要約)※

	前中間期 2024年1月 1日から 2024年6月30日まで	当中間期 2025年1月 1日から 2025年6月30日まで
売上高	30,243	32,269
売上総利益	4,993	5,346
営業利益	1,548	1,641
経常利益	1,600	1,844
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,086	1,252

連結貸借対照表 (要約)※

	前期末 2024年12月31日現在	当中間期 2025年6月30日現在
資産合計	61,747	76,478
流動資産	53,876	68,869
固定資産	7,870	7,608
負債合計	39,452	53,281
流動負債	37,804	51,773
固定負債	1,648	1,507
純資産合計	22,294	23,197

※単位：百万円、単位未満切り捨て

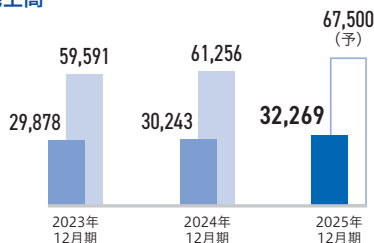
2025年12月期 通期業績見通し

売上高675億00百万円（前期比10.2%増）、営業利益35億00百万円（前期比51.4%増）、経常利益35億30百万円（前期比39.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益25億30百万円（前期比36.7%増）を見込んでおります。

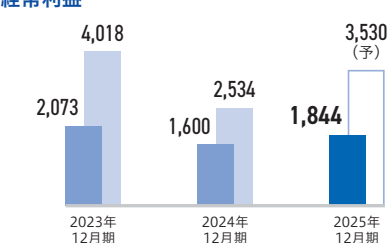
経営指標の推移

単位：百万円、単位未満切り捨て ■…中間期 □…通期

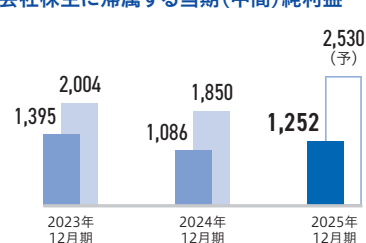
売上高



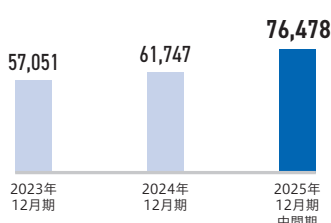
経常利益



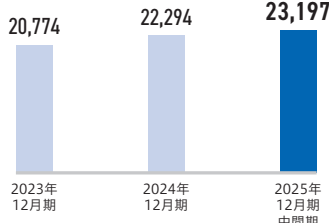
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益



総資産



純資産



■ 事業別の業績

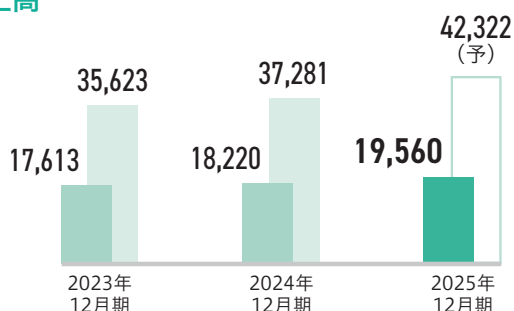
情報サービス事業

**売上高は、前年同期比7.4%増の195億60百万円、
営業利益は、同1.2%減の2億43百万円となりました。**

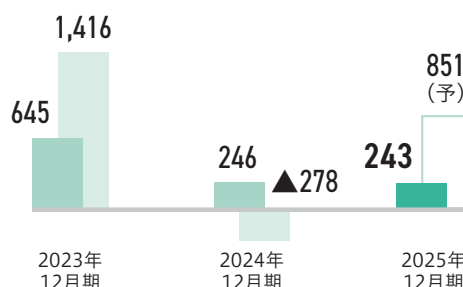
情報処理サービスでは、BPO（業務処理アウトソーシング）事業が引き続き堅調に推移いたしました。また、SI・ソフト開発では、オートオークション業向けシステム案件や、自治体、民需ともにGoogle Workspace、Google Maps、Google Cloud Platformなどのクラウドサービス分野が好調、商品及び製品販売では、Google Chromebookの販売が堅調に推移したことにより売上は前年を上回る結果となりました。一方、一部の仕入れ価格の上昇や人件費の増加及び過去に受注したシステム開発の契約が解除となった影響などにより利益は減少いたしました。

単位：百万円、単位未満切り捨て

売上高



営業利益



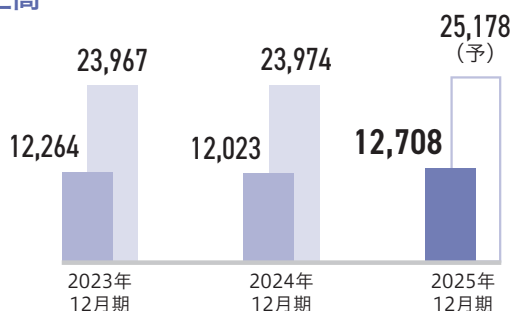
収納代行サービス事業

**売上高は、前年同期比5.7%増の127億8百万円、
営業利益は、同7.2%増の13億93百万円となりました。**

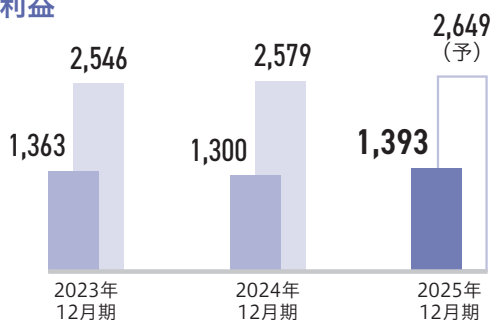
主力の収納・集金代行サービスでは、地方自治体を中心とした新規顧客の受注や稼働が順調に推移いたしました。前期後半から稼働した大口案件での取扱い件数の増加もあり、売上高は増加となりました。また一部の仕入れ単価は上昇したものの顧客の契約単価への転嫁が進んだこと、また決済ゲートウェイ事業におけるコストの見直しにより営業利益が増加となりました。

単位：百万円、単位未満切り捨て

売上高



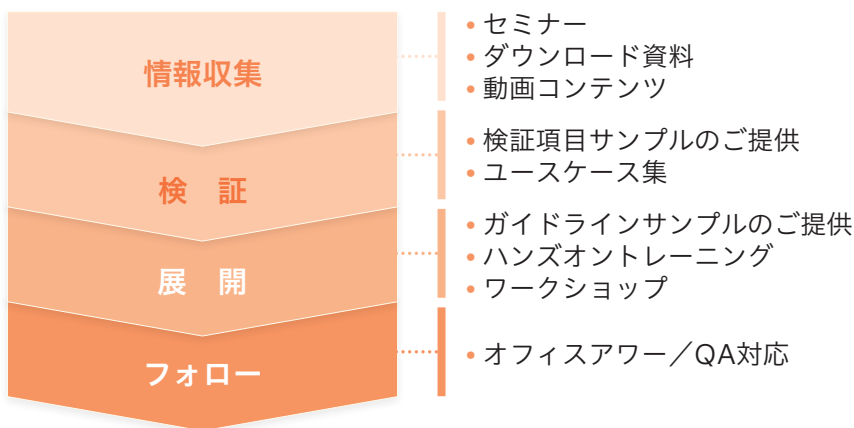
営業利益



生成AI専門チームがお客さまをサポート

当社グループである株式会社電算システムの生成AIへの取り組みは、お客さまのビジネス現場における価値創造を最も重視しています。最新技術をいかにして現実のビジネス課題の解決に繋げるか、その答えをお客さまとともに見つけ出すため、体系的な支援サービスを展開しております。

■ 提供サービス



ハンズオントレーニング参加者の98%が利活用促進に有用と実感

まず、生成AIの基礎知識や可能性を広く知っていただくためのセミナーや勉強会を定期的開催しています。さらに深くご理解頂くための「ハンズオントレーニング」や「生成AIワークショップ」では、実際に生成AIのサービス进行操作しながら学び、お客さまの業務内容に合わせた具体的な活用法の発見を支援します。本格的な社内展開と定着を促す「利活用促進」のフェーズまで、一貫して伴走します。



▲ワークショップの様子

ハンズオントレーニングには、1年間で2,000名以上の方にご参加いただき、参加者の98%から「利活用促進に有効」との高い評価を獲得しています。ご参加された方からは、「文書や資料の作成の時間が大幅に改善されると実感できた（製造業・生産管理）」といった、具体的な業務改善への手応えを感じる声を多数いただいております。「利活用促進」としては、お客さまそれぞれの生成AI展開状況に応じたご相談への対応や、Google Workspaceお客さま向けの利活用サポートサイトを通じて、動画やブログ形式で生成AI利活用のご支援を行っています。

実践的な活用事例と大規模な導入実績

こうした活動を通じて得られた知見を基に、私たちは製造業、自治体、金融、ITといった多様な業界に特有の課題を解決するための、実践的な活用事例（ユースケース）を創り上げています。その成果は、ある大手企業における5,000人規模の全社展開や、自治体での先進的な働き方改革といった、大規模な導入実績にも繋がっています。こうした成功事例を一つひとつ着実に積み重ねることが、会社の未来の収益基盤を築くものと確信しております。





TOPICS

当社グループのトピックスをご紹介します。



DSKファームのご紹介

全ての人が雇用の機会とやりがいを持てる社会の促進に貢献していくため、障がいのある方が福利厚生専門スタッフとして農園で野菜や果物を育てています。また、収穫した野菜を社内に配布し、社員の健康増進や相互の一体感を醸成し、農園スタッフのやりがいにも繋がっています。

今後も、各自の特性や個々の能力を發揮できる環境作りに努め、エンゲージメントの向上を推進してまいります。



▲DSKファームでの作業の様子

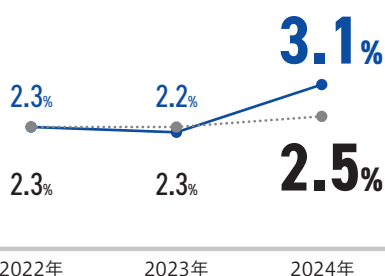


◀農園で働くスタッフ



雇用率の推移

●雇用率 ●法定雇用率



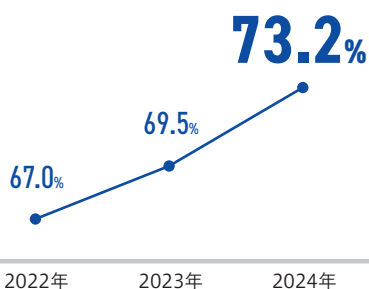
ダイバーシティ、健康経営の推進

当社グループでは、社員の柔軟な働き方や働きやすい職場作りなど、ワーク・ライフ・バランスの向上を推進しています。



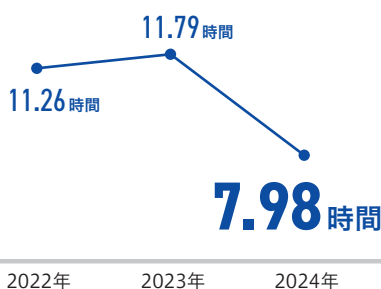
有給休暇取得率の向上

- ・連続休暇の取得促進
- ・社内イントラでの啓蒙活動の実施



時間外労働の減少

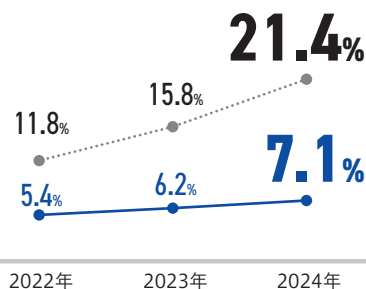
- ・リフレッシュデーの実施・促進
- ・時間外労働実施状況、増減率を社内イントラへ提示し、意識を高める



女性の活躍推進

- ・管理職候補者向け研修の実施、女性活躍推進法を意識した候補者の選抜
- ・中途採用における女性採用比率を、定期的に執行役員会で状況報告実施

●女性管理職 ●候補者



健康経営優良法人の認定取得

当社グループでは、社員が健康でいきいきと活動することが全ての礎であるとの認識のもと、社員やその家族の幸福を組織で支える健康経営を推進し、活力ある企業として持続的に成長し続けることを宣言しています。株式会社電算システムは2025年3月10日、経済産業省と日本健康会議が推進する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に認定されました。

今後も、「社員のウェルビーイング向上」の実現に向け、一人ひとりが能力を十分に発揮できる、安全で快適な職場環境づくりを目指します。

また、健康経営優良法人としてふさわしい取り組みを継続し、さらなる健康経営の推進に努めます。



◀これまでの健康経営の取り組みについてはこちら



■「健康経営優良法人認定制度」とは

特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度です。

「九州支店」開設で九州・沖縄地域のサービス提供体制を強化

株式会社電算システムはDX需要の急拡大を背景に2025年5月1日、福岡県福岡市に「九州支店」を開設しました。

近年、企業や行政機関においてはAI・クラウド・データ活用など、高度なデジタルソリューションへのニーズが急速に高まっています。これまでも、Googleの日本初期パートナーとして、Google WorkspaceやChromebookなどの法人向けGoogleプロダクトを提供し、自治体や地域企業のDX推進を支援してまいりましたが、今回の支店開設により、九州・沖縄地域におけるサービス提供体制をより一層強化いたしました。



九州支店では、単なる販売・導入支援にとどまらず、地域のお客さまの課題に即したコンサルティング、導入支援、運用保守まで、一貫したサービスを提供し、お客さまの業務効率化や生産性向上、新たな価値創出を支援してまいります。

今後は、地域のIT企業との協業、地域人材の育成、産学連携プロジェクトの推進など、地域に根差した取り組みを積極的に展開し、九州・沖縄地域の企業・自治体のDX推進とともに、地域経済の活性化・持続的なデジタル環境の向上に貢献してまいります。

2025年12月期株主優待の内容が決定しました

3,000円相当の
商品を進呈!

当期は岐阜県の特産品または寄付の中から、1つをお選びいただけます。
お申込カタログは2026年3月下旬に送付いたします。

1 明方ハムセット



昭和28年創業からの製法を守り続け、国産豚肉のみを使用した、高級プレスハム。塩漬期間を長くとることにより、熟成された肉本来の旨みが凝縮されています。

提供：めぐみの農業協同組合

2 薬用入浴剤10袋セット



古来より岐阜は薬草文化が根づき、薬草の宝庫として専門家に注目されてきましたが、その知見を活かして製造された、植物由来100%の薬用入浴剤のギフトセットです。厳選された10種の生薬の有効成分が心と体を癒やす、贅沢なバスタイムをお楽しみください。

提供：国産薬品工業株式会社

3 はちみつ3本セット



上品な甘みの国産百花はちみつ、ライチの香りとほのかな清涼感のあるベトナム産ライチはちみつ、甘さとともに爽やかな酸味も楽しめるミャンマー産ヒマワリはちみつの3本セットです。1本300g。容器も蜜切れの良い倒立容器で、スプーン不要でご使用いただけます。

提供：株式会社秋田屋本店

4 百春純米上撰 & 百春美濃之地酒 (お酒)



原料米に岐阜県産米、醸造用水には井戸で汲み上げた長良川の伏流水を使用した、とてもスッキリとした飲み飽きしない百春純米上撰と、まろやかな口当たり、サラリとしたのど越し、やや辛口の百春特別本醸造美濃之地酒の2本セットでお届けします。

提供：株式会社小坂酒造場

5 ラーメン (麺屋しらかわ)



飛騨高山の有名ラーメン店のラーメンです。鶏と魚介のバランスの取れた醤油スープに、ブラックペッパーのアクセントが味を引き立てます。

提供：株式会社郵便局物販サービス

6 ビーフカレー・ビーフシチューセット



昭和39年創業、飛騨高山のステーキ専門店キッチン飛騨が作ったレトルトの詰め合わせです。飛騨牛と玉ねぎを贅沢に使用し、香り豊かでスパイシーなビーフカレーと、ほどよい酸味でマイルドな味わいのビーフシチューです。

提供：株式会社飛騨ハム

7 寄付



株主さまに代わり弊社が「岐阜県によるSDGsの推進」へ3,000円寄付致します。

8 寄付



株主さまに代わり弊社が「日本赤十字社」へ3,000円寄付致します。

対象

1単元(100株)以上を1年以上継続して保有いただいている株主さま

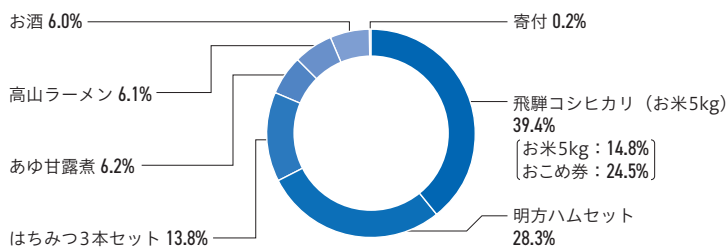
保有期間

2024年12月31日、2025年6月30日及び2025年12月31日の各株主名簿に、同一株主番号で3回連続で記載または記録された株主さま

2024年12月期 株主優待に関するご報告

株主優待に関する結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。2025年8月1日現在、97.3% (12,443株主) のたくさんの株主さまよりお申し込んでおります。また、74%以上の株主の皆さまに「満足」とのご回答をいただきました。

■ 企画商品ごとの申込状況



※申込状況としてご案内後、約3週間で約74%の申込を受付けております。

会社概要及び株式情報

会社概要 (2025年6月30日現在)

商号	株式会社電算システムホールディングス
設立年月日	2021年7月1日
資本金	25億0,380万円
従業員	連結1,042名
事業内容	・ 情報サービス事業 (SI・ソフト開発、セキュリティサービス、 情報処理サービス、商品販売) ・ 収納代行サービス事業
本社所在地	岐阜本社 〒501-6133 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456 東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀綜通ビル TEL.03-3206-1771
グループ会社	株式会社電算システム (岐阜県岐阜市/東京都中央区) 株式会社ソフトテックス (宮崎県宮崎市) 株式会社DSKペイメント (東京都中央区) ガーデンネットワーク株式会社 (東京都中央区) 株式会社ゴーガ (東京都渋谷区) 株式会社ピーエスアイ (東京都新宿区) アストロ日高株式会社 (東京都新宿区) 株式会社マイクロリサーチ (東京都品川区) 株式会社CMC (岐阜県岐阜市) 株式会社システムエンジニアリング (岐阜県高山市) 十六電算デジタルサービス株式会社 (岐阜県岐阜市)

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法とします。 【当社ホームページ】 https://www.ds-hd.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 名古屋証券取引所プレミアム市場
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株式会社 電算システムホールディングス

岐阜本社 〒501-6133 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456
東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀綜通ビル TEL.03-3206-1771
<https://www.ds-hd.co.jp/>



取締役 (2025年6月30日現在)

(岐阜本社)

(東京本社)

代表取締役社長	こばやし りょうじ 小林 領司
取締役	たかはし じょうた 高橋 譲太
取締役	やしま けんたろう 八島 健太郎
取締役	うさみ たかし 宇佐美 隆
取締役	すずき まさのぶ 鈴木 正伸
取締役	なかた けいこ 中田 恵子
取締役 監査等委員	さわふじ のりひこ 澤藤 憲彦
取締役 監査等委員	とみさか ひろし 富坂 博
取締役 監査等委員	のだ ゆうじ 野田 勇司

(注) 中田恵子氏、富坂博氏、野田勇司氏は、会社法第2条15号に定める社外取締役であります。

株式の状況 (2025年6月30日現在)

発行可能株式総数 (普通株式)	40,000,000株
発行済株式の総数 (普通株式)	10,798,341株
株主数	16,000名

所有者別株式分布状況

金融商品取引業者 0.54%	外国人(個人・法人含む) 8.33%	
金融機関 29.12%	個人・その他 37.95%	その他国内法人 24.06%

※自己名義株式の単元株式数は「個人・その他」に含んでいます。

同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日および12/31~1/3を除く)

●住所変更のお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社等に口座を開設されていない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。